

岡崎から全国へ
緊急出動

レッドサラマンダー

これまでの活躍

2017年7月九州豪雨

後部ユニット部分に作戦を立てる消防隊員を乗せ、2017年7月の九州北部豪雨でレッドサラマンダーは初出動した。ゴム製のキャタピラで道路をふさぐ土砂や瓦礫を乗り越え、過酷な現場で被災者救助を行った。

2023年6月令和5年台風2号

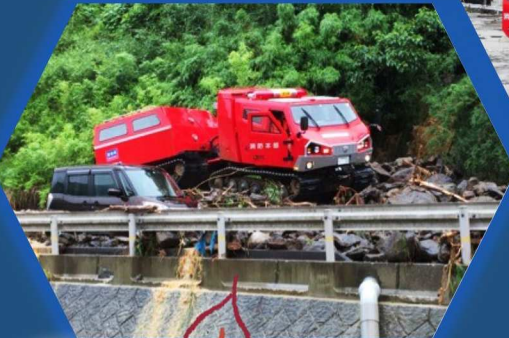
岡崎市乙川沿いの冠水した道路で立ち往生してしまった軽トラックの荷台に逃れていた男性を濁流の中、救助するなど、川の流れもある危険な作業や孤立した住宅の市民の救助で水陸両用車が大活躍した。

2011年3月11日、東日本大震災の津波の影響で、従来の救護車では、浸水してしまった孤立集落に救護に向かうことが困難であった。その経験をした隊員の方々の意見を吸い上げ、2013年3月28日、総務省消防庁より岡崎市消防署本部に貸与された。

岡崎が選ばれた理由は、日本のほぼ中心に位置し、高速道路など交通インフラが整っていること、さらに、南海トラフ巨大地震が起こった時にも、津波の心配が無く、すぐに救護に駆けつけられるからである。

2024年9月下旬奥能登豪雨

大雨によって甚大な被害が出た石川県能登地方にも出動。
「助けられる命は、
必ず助ける！」
水害に対する救出救援能力は飛躍的に高まっている。



冠水した道路を走り、浸水した住宅に駆けつけたレッドサラマンダー
岡崎市内7か所の現場に駆けつけ、浸水した民家などから6人を救助

No. 1 & Only 1

レッドサラマンダーは、全長 8.7m・幅 2.2m・高さ 2.6m で車両重量は約 12t、総排気量 7,240cc のキャタピラをついた迫力のある重厚なボディが特徴である。10人乗りで最高速度は時速 50 km、ぬかるんだ道や瓦礫の上をグイグイ走行することができる。さらに、津波や川の氾濫などの水害時に浸水した地域での活動ができるように水深 1.2m、最大 60cm の段差、幅 2m の溝までも乗り越え、一般車両では走行不能な災害現場へいち早く駆けつけ救援にあたり、全国から注目されている。

